



PORSCHE CENTER AOYAMA SETAGAYA APPROVED CENTER PORSCHE CENTER GINZA
KOISHIKAWA APPROVED CENTER PORSCHE CENTER MEGURO

第7戦、今シーズン2回目のベストリザルトでチェッカー！ チームは勢いそのままに最終戦へ。

2015年、エクセレンスグループ(PC青山・世田谷認定中古車センター、PC銀座・小石川認定中古車センター・PC目黒)は、SUPER GT GT300クラスにPorsche Team KTRからExcellence Porsche(#33)を走らせている。ここオートポリスサーキットは、ハイスピードコーナーとアップダウンの多いテクニカルなコースレイアウト。さらに路面μも低く不安定になりやすい状況で、どこまでマシンバランスを高めることができるかがポイントとなる。

10月31日(土)

2015 AUTOBACS SUPER GT Round7 SUPER GT IN KYUSHU 300KMのフリーラクトイスが行われた。セッション開始直後、GT500のマシンがコースアウトし赤旗中断となるが、その後は特にアクシデントも無く各チームはセットアップメニューを消化していく。Excellence Porscheもピットイン/アウトを繰り返し、セットアップを続けるが、オーバーステアに悩まされエンジニアはデータと格闘する。車高やアンチロールバーの調整によって少しずつ問題が解消されてきたところで、95分のセッションは終了。

予選Q1の攻撃を担当したのは、ベテランの坂本選手。予選開始後、約5分が経過したところでコースイン。想定よりもタイヤの温まりが悪かったため、ウォーミングアップを1周多く走り、攻撃を開始。アタック1周目は無難なタイムで通過し、いよいよ2周目。セクター1、セクター2で自己ベストを更新しポジションを大きくジャンプアップできるかとチームの期待が高まった瞬間、『前の車両にブロックされた！』と無線が入った。モニターに視線を移すと最終コーナーでピットに戻るためにスローダ

ウンしているマシンに前を塞がれ、あわや接触するところだった。この周でニュータイヤのグリップを使い切ってしまったことから再アタックは中止、ピットへと戻る無線が入った。予選19番手とチームとしては不本意な結果でセッションを終えた。

武田敏明監督 コメント：

『予選中のブロックは運が悪かったとしか言えないですね。ライバルチームはタイヤの磨耗に苦しんでいるようですが、私たちが選択したタイヤは特に心配なさそうです。決勝に向けたラップタイムには自信がありますので期待してください。』

11月1日(日)

決勝日の天気は、曇り。Excellence Porscheは朝のフリー走行で、昨日まで悩まされていたオーバーステアは無くなり、非常にバランスの良い状態を確認できていた。スタート直前の気温は14度とかなり低いが、これは標高約900mの高地のため想定内。レース後半には雨も降る可能性もある中、レースはGT500からローリングスタート。スタートドライバーは坂本選手。GT300のスタートも特に混乱無く、クリーンなスタートが切られた。マシントラブルによって上位3台がスターティンググリッドに並べられなかったため、1周終わった時点で16番手となる。タイヤに大きく負担のかかるサーキットではあるが、Excellence Porscheのバランスの仕上がりの良さ、ドライバーのタイヤマネジメント力が徐々に結果として現れる。3周目には15位、20周目には13位、30周目には12位とポジションを上げていく。そして間も無く、『3コーナー付近から雨が降り始めてきた！』という無線が坂本選手から入る。チームは当初の作戦を変更し、天候がはっきりするまでピットインさせないこと

にした。この頃からライバルチームのタイヤが悲鳴を上げ始め、続々とピットインしてくる。坂本選手はタイヤを温存させながら41周を走りきり、2番手まで浮上したところで天候もドライタイヤのまま行けると判断したチームは、ようやくピンさせた。通常ここでタイヤ交換は4輪行うのだが、フロントタイヤの磨耗が少なかったことからリアタイヤだけを交換し、作業時間を短縮して山下選手をコースへと送り出した。13番手でコースへ復帰し、残り18周のショートステントを目一杯プッシュする。先にピットインしたライバル勢は、タイヤの消耗が激しく徐々にペースが落ちたことで、48周目にはトップ10に入る。さらにタイヤバーストしてしまうマシンも現れ、54周目には8位までポジションを上げる。前を走る7番手の車両とのギャップは40秒近くあったため、ここでチームは無理して前を追うリスクを避け、2秒後ろから迫るライバルに先行されないように指示を出す。山下選手はしっかりとポジションを守りきり、今シーズン2回目のベストリザルトである8位でチェッカーを受けた。

坂本祐也選手 決勝後のコメント：

『レース中、後ろから追突されてしまったこともありましたが、バランスの良いセッティングのお陰でフロントタイヤを労わりながら、良いペースで走行することができました。現状の性能調整の中では、最高の結果だと思います。』

山下健太選手 決勝後のコメント：

『坂本選手にフロントタイヤを労ってもらい交換せずに済んだことで、上位でコースに復帰できて、良いペースで走りることができました。再来週の最終戦も頑張ります！』



決勝スタート前のグリッド



決勝中、リアタイヤのみ交換をするメカニック



ドライバーからは全く前が見えない第2ヘアピナーフ

2015年、エクセレンスグループ(PC 青山・世田谷認定中古車センター、PC 銀座・小石川認定中古車センター・PC 目黒)は、SUPER GT GT300 クラスに Porsche Team KTR から Excellence Porsche (#33)を走らせている。第7戦では今シーズン2回目のベストリザルト8位を獲得した。そして、いよいよSUPER GT 最終戦を栃木県ツインリンクもてぎで迎える。

11月14日(土)

2015 AUTOBACS SUPER GT Round8 SUPER GT MOTEGI GT 250km RACEのフリープラクティスが始まる。早朝から降り始めた雨で路面は完全なウェット。さらに気温も11度と低く、どのチームもタイヤが発熱するまではペースを上げることはできない状態。Excellence Porscheはセッション開始とともにコースインし、入念にウォーミングアップを重ね十分に温まった6周目に自己ベストタイムを更新したとこでピットイン。まずは最適な内圧を探るべく何度か調整を繰り返した。調整が落ち着いたところで、ソフト寄りのタイヤに交換しアタックした。これが路面とのマッチングが良く、それまでのベストタイムを大きく更新した。その後もスプリングやアンチロールバーをアジャストし、車のバランスはポルシェが最も得意とするトラクションがしっかりと掛かるほどになった。結果8番手とフリープラクティスでは自己最高位で終えることができた。

予選Q1のアタックを担当したのは、フリープラクティスでセットアップを担当した坂本選手。気温13度/路温15と朝のフリープラクティスよりは若干高いものの、やはりタイヤは温まりにくい状況。アタック1周目には3番

手に浮上するものの、その後はトラフィックに引っかかり中々タイム更新できない。前車との間隔を空けて再度アタックするものの、またもやペースの悪い車両に前を塞がれ思い通りのタイムが出ずに苦戦を強いられた。結果、Q2進出するためのカットラインぎりぎりの13番手でQ1を突破することができた。

予選Q2のアタックは山下選手。12分間しかないため、チームはQ1で使用した温まったタイヤを選択した。セッション開始とともに雨脚が強くなったことから、早目のタイミングでアタックしたいところ。Excellence Porscheは2周目からペースを上げ、3周目にアタックを始めたところで『ハイドロが凄くて無理です!』という無線が山下選手から入った。モニターを観るとコース上は大きな川がいくつも流れ、ライバルチームが次々とスピンやコースアウトしていた。これ以上タイムは更新できないと判断したチームはピットインの指示を出す。結果、各チーム十分なアタックができて予選が終了してしまい、この非常に危険な状況の中でタイムを残すことができた山下選手は予選6番手という今シーズンベストクオリファイを残すことができた。

山下健太選手 予選後のコメント:

『Q2を担当させてもらいましたが、予想していた雨量よりも増えアタックする間も無く、あっという間に危険な状態になってしまいました。本当は3番手以内に入りたかったんですが...。明日の決勝は今シーズンベストグリッドから頑張ります!』

11月15日(日)

決勝日の天気は、雨のち曇り。Excellence Porscheは朝のフリー走行をウェットコン

ディションの中、4番手の好タイムを記録。やはり今シーズンのレギュレーション上、ポルシェはウェットコンディションの方が圧倒的に速い。チームは決勝に向けてマシンもタイヤも万全な準備をする中、決勝時間の天気予報は曇りのち晴れという難しいレースが予想されていた。決勝のスターティンググリッドにマシンを止めた時点では、雨は降っていないが路面は完全なウェット。これから路面が乾いてくるだろうと、各チームはドライタイヤに交換し始めた矢先、突然雨が降ってきた。この雨でExcellence Porscheを含むほぼ全車がウェットタイヤを装着して、決勝スタートに臨むこととなる。いよいよ今シーズン最後のレースがスタート、ドライバーは坂本選手。1周目で早くも1台をパスし5番手へと浮上。しかし6周目には逆にパスされてしまう。この頃から雨も完全に止み、徐々に路面から水たまりが無くなっていく。チームはソフト寄りなレインタイヤを選んだことで、少しずつつタイヤが悲鳴を上げ始める。無線で坂本選手とピットとの間で何回もやり取りをし、スリックタイヤに交換できるタイミングを計っていた。そして18周目、路面がある程度乾きスリックタイヤで行けると判断したチームは、ライバルよりも早くピットイン。給油、スリックタイヤに交換、ドライバーは山下選手に交代しコースへ復帰。その後、各チームがピットインし終わったタイミングでポジションは10番手。山下選手はここから追い上げるべく、タイヤマネジメントに徹しレース後半に備えていたが思い通りの状況にはならなかった。タイヤをセーブしているはずが、徐々にグリップを失い始めたタイヤと山下選手は戦っていた。ペースも落ち始め、36周目には13番手、47周目には14番手までポジションダウン。さらに迫り来るライバル勢をなんとか抑え、48周で14番目のチェッカーを受けた。

坂本祐也選手 決勝後のコメント:『ウェット路面ではポルシェ特有のトラクションの良さで速かったのですが、乾き始めると徐々に厳しくなりましたが、スリックタイヤに交換するピットインのタイミングは最高でした。今回もチーム全員、完璧な仕事をしてくれました。自分自身、怪我で途中からの参戦となりましたが、このチームとSUPER GTを戦うことができ、本当に感謝してます!』

山下健太選手 決勝後のコメント:『坂本選手が絶妙なタイミングでピットインしてくれましたが、ドライ路面ではタイヤがマッチせずペースダウンしてしまい非常に悔しかったです。でも今シーズン始めてSUPER GTに参加できたこと、色々経験させてもらい、チームにはとても感謝しています。ありがとうございました。』



タイヤ交換の練習をするメカニック

Q2アタックを終えて握手する山下選手と武田監督

坂本選手から山下選手への交代

決勝中、ドライ路面へと変化した

今シーズンを振り返って

坂本祐也選手 (SUPER GT#33パイロット)

途中参戦となりましたが、マシンのセットアップも含め自分の経験をチームにフィードバックすることで、後半戦はおもしろいレースが出来たと思います。不運やアクシデントで取りこぼしたレース(鈴鹿、SUGO)もあれば、19位から8位まで追上げたレース(オートポリス)、予選から上位争いに絡めたレース(もてぎ)など、毎レースごとにチームのポテンシャルは上がっていったと思います。シーズンを通して、ポルシェにはつらいシーズンとなってしまいましたがこの経験は必ず、来シーズンへ繋がると信じています。

Porsche Team KTR Excellence Motorsportの一人としてスーパーGTを戦えた事を誇りに思います。本当にありがとうございました。

山下健太選手 (SUPER GT#33パイロット)

自分にとって今年がスーパーGT初年度でした。色々なものが噛み合わず、シーズン通して厳しいレースが続いてしまいましたが、自分にとっては

この経験が今後に繋がるものだったと思っています。たくさんの応援とサポートありがとうございました。

塚本奈々美選手 (PCCJ #11パイロット)

ポルシェで戦うという大きなチャンスを与えてくださったチーム並びに関係者の皆様、本当に感謝しております。やれることは精一杯やりましたが、それができたのもTEAM KTOUCH PORSCHEファンの皆様の暖かい応援があったからです！これからもモタスポ女子がたくさん増えるよう、その魅力を伝えていきたいと思っています。ありがとうございました！

久保凜太郎選手 (PCCJ #12パイロット)

昨年度のチャンピオンチームに迎え入れて頂き、プレッシャーも多くありましたがチームのスタッフ、メカを始め、応援して頂いた全ての皆様には感謝の言葉しかありません。1年間の応援、また一緒に戦って頂き本当にありがとうございました。



左から、武田監督・山下選手・坂本選手・山野スーパーバイザー

PCCJ 塚本選手・久保選手

チームチャンピオンを受賞する藤田チーム代表

MOTORSPORT NIGHT 2015

ポルシェモータースポーツナイト2015が今年もウエスティンホテル東京にて開催され、カラカップジャパン オーバーオールクラス3位の久保選手の表彰、TEAM KTOUCH PORSCHE チームチャンピオンの表彰が行われたほか、Porsche Team KTRの坂本選手・山下選手、TEAM KTOUCH PORSCHE 11号車 塚本奈々美選手も華やかな衣装で登壇いたしました！

Information

■ SUPER GT GT 300 クラス 2015 チームランキング

Rank	CarNo.	Team	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8
1	10	GAINER	116	5	23	18	8	28	8	18	8
2	31	apr	93	23	11	5	5	5	18	3	23
3	3	NDDP RACING	75	4	18	23		1	6	23	
4	11	GAINER	71	1	14	11	14	3	14		14
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
15	33	Porsche Team KTR	19	1	1	6		1	3	6	1

■ Porsche Carrera Cup Japan 2015 ランキング

オーバーオールクラス POINT ランキング

Rank	CarNo.	Driver	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10
1	15	元嶋 佑弥	180	20	20	20	20	20	20	20	DNS	20	
2	78	近藤 翼	170	18	18	18	18	16	18	16	18	18	16
3	12	久保 凜太郎	166	16	16	16	16	18	16	18	16	20	14
4	19	永井 宏明	96	14	14	6	14	14	14	4	DNS	16	18
5	9	武井 真司	83	12	12	14	12	7	DNF	14	14	DNF	10
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
11	11	塚本 奈々美	53	6	5	2	6	6	9	7	8	4	3

チーム ランキング

1	TEAM KTOUCH PORSCHE	222 point
2	NINNE RACING	185 point
3	BINGO RACING	124 point

WEB: porsche.ktouch.jp

■ SUPER GT 2016 スケジュール

ラウンド	日程	サーキット
Rd.1	4月9日・10日	岡山国際サーキット
Rd.2	5月3日・4日	富士スピードウェイ
Rd.3	5月21日・22日	オートポリス
Rd.4	7月23日・24日	スポーツランド SUGO
Rd.5	8月6日・7日	富士スピードウェイ
Rd.6	8月27日・28日	鈴鹿サーキット
Rd.7	10月8日・9日	チャン・インターナショナル・サーキット
Rd.8	11月12日・13日	ツインリンクもてぎ

Thank you for your support

1年間応援いただき、
本当にありがとうございました！
来年もよろしくお願いたします。

KTOUCH RACING 一同

TEAM KTOUCH PORSCHE
Facebook page



TEAM KTOUCH PORSCHE
WEB PAGE



PORSCHE CENTER AOYAMA SETAGAYA APPROVED CENTER PORSCHE CENTER GINZA
KOISHIKAWA APPROVED CENTER PORSCHE CENTER MEGURO

